

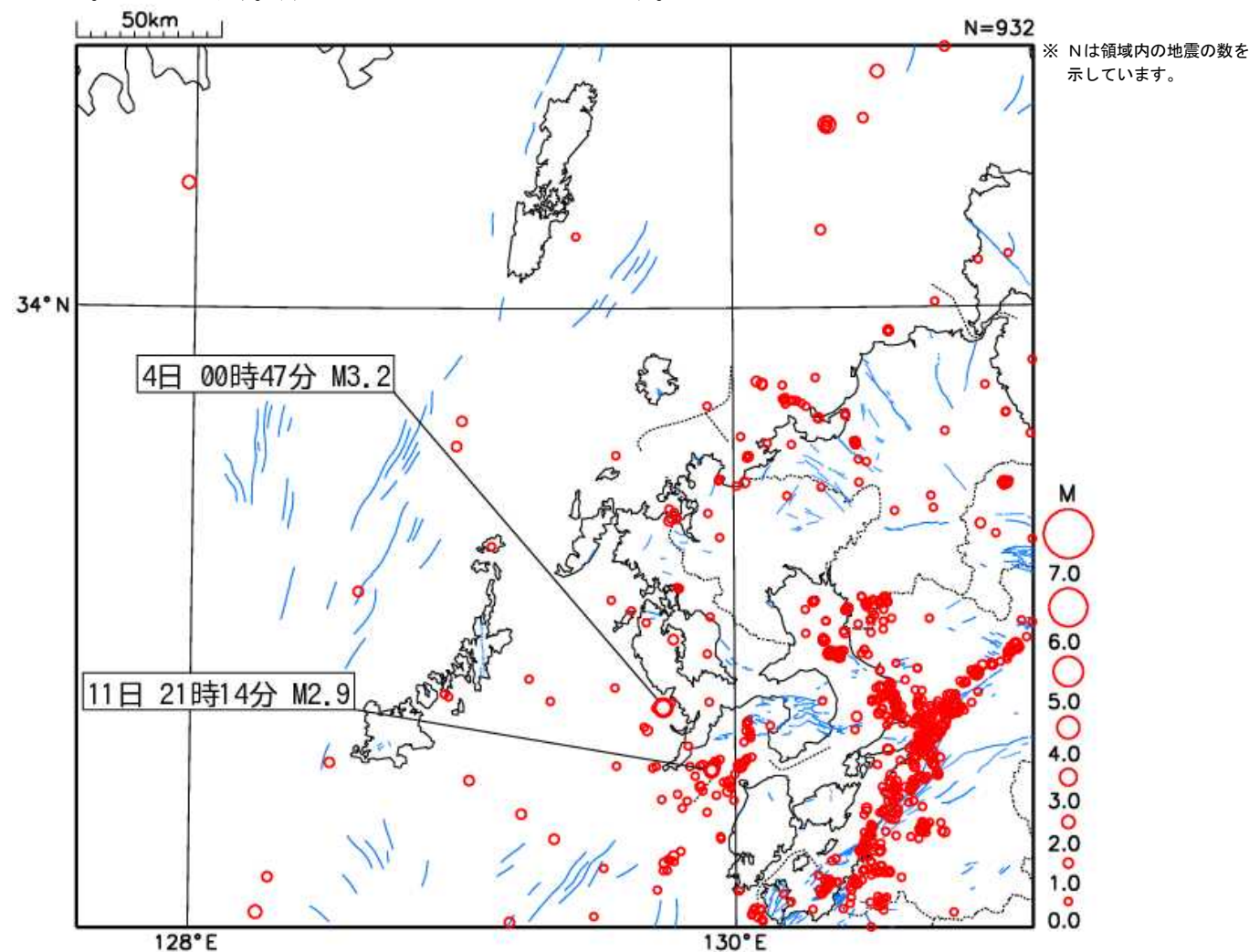
長崎県の地震活動概況 (2021年7月)

令和3年8月10日

長崎地方気象台

地震活動の概況 (2021年7月)

7月に長崎県内で震度1以上を観測した地震は3回でした(震央分布図領域外の1回を含む。6月は3回)。詳細は2~4ページのとおりです。



震央分布図 (2021年7月1日~31日、深さ30km以浅、M≥0.0)



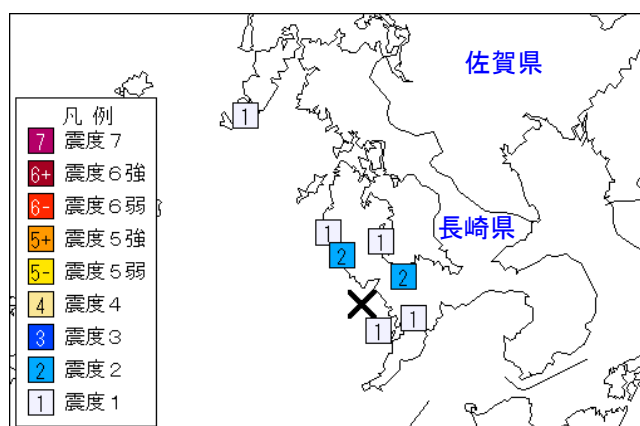
断面図 (2021年7月1日~31日、深さ30km以浅、M≥0.0)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

- ※ 本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す(活断層のデータは新編日本の活断層による)。
- ※ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- ※ 2020年4月18日から10月23日、2021年1月9日から3月7日、及び4月19日から、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、これらの前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化(増減)がみられることがあります。

五島列島近海

4日00時47分に五島列島近海で発生したM3.2の地震（深さ13km）により、長崎県では長崎市、時津町で震度2を観測したほか、平戸市及び西海市で震度1を観測しました（図1）。

今回の地震の震源付近（図2領域a）では、M2以上の地震が時々発生しており、2016年2月20日に発生したM3.0の地震（深さ11km）により、長崎県では長崎市、西海市で震度1を観測しています（図2、図3）。



7月4日00時47分 M3.2
図1 震度分布図（観測点別 ×：震央）



図2 震央分布図

(1997年10月1日～2021年7月31日 深さ0km～30km M \geq 1.5)
※2021年7月1日以降の地震を赤で表示

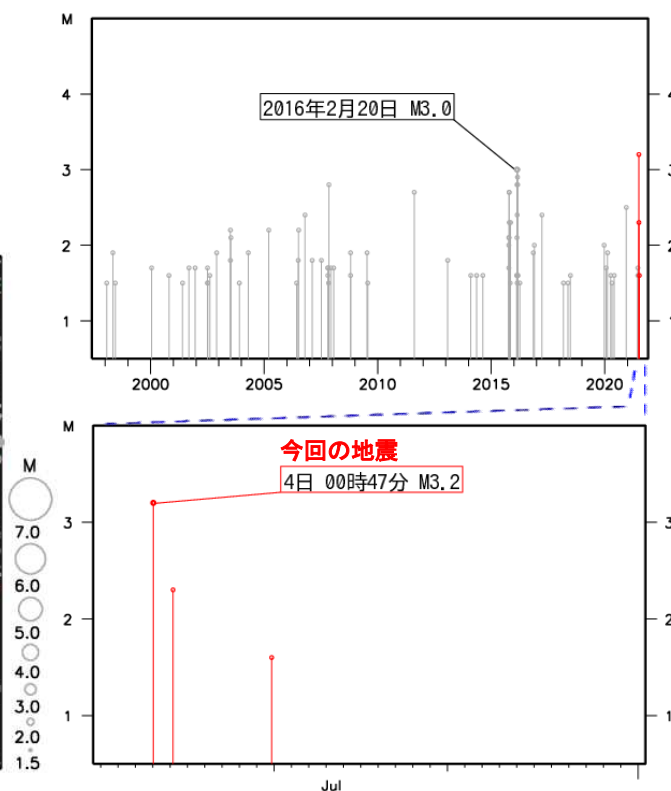


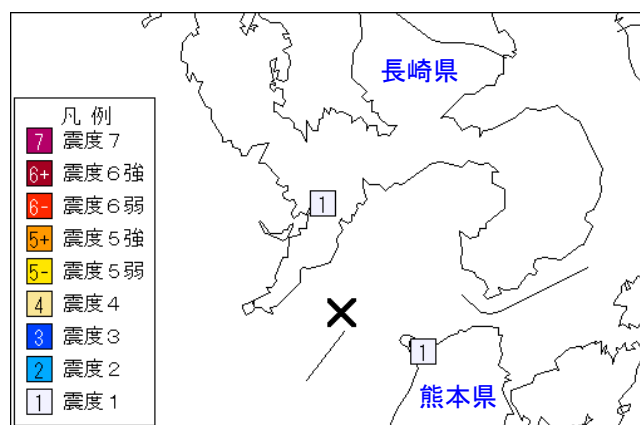
図3 図2領域a内の地震活動経過図

(上段：1997年10月1日～2021年7月31日、M \geq 1.5
下段：2021年7月1日～2021年7月31日、M \geq 1.5)

天草灘

11日 21時 14分に天草灘（情報発表に用いた震央地名は「橘湾」）で発生した M2.9 の地震（深さ 10 km）により、長崎県及び熊本県で震度 1 を観測し、長崎県では長崎市で震度 1 を観測しました（図 4）。

今回の地震の震源付近（図 5 領域 b）では、M3 以上の地震が時々発生しており、2019 年 2 月 23 日に発生した M4.4 の地震（深さ 14km）により、長崎県では長崎市、雲仙市及び南島原市で震度 3 を観測したほか、県内の広い範囲で震度 2～1 を観測しています（図 5、図 6）。



7月11日 21時14分 M2.9

図 4 震度分布図 (観測点別 × : 震央)

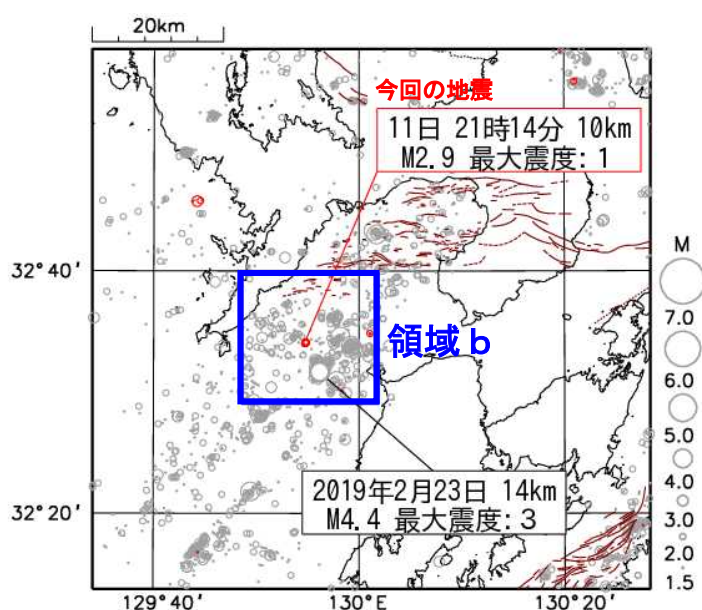


図 5 震央分布図

(1997年10月1日～2021年7月31日 深さ 0km～30km M≥1.5)

※2021年7月1日以降の地震を赤で表示

※図中の茶線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

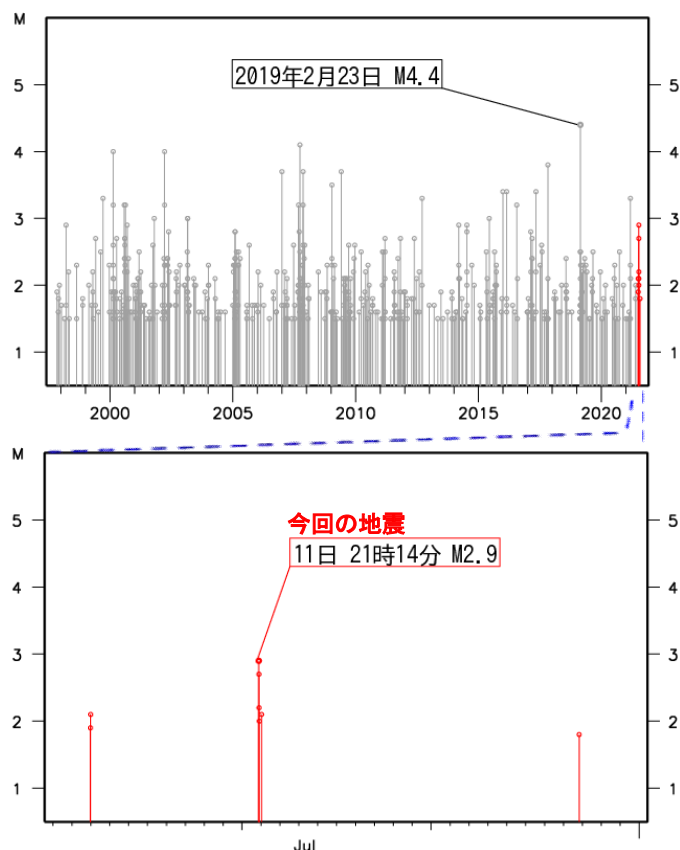


図 6 図 5 領域 b 内の地震活動経過図

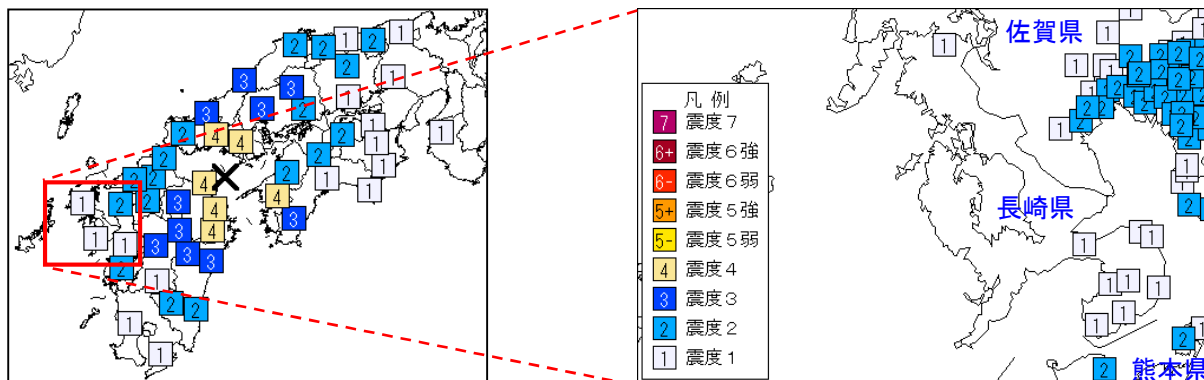
(上段: 1997年10月1日～2021年7月31日、M≥1.5

下段: 2021年7月1日～2021年7月31日、M≥1.5)

伊予灘(1頁震央分布図領域外)

17日20時50分に伊予灘で発生したM5.1の地震(深さ76km)により、山口県、大分県及び愛媛県で震度4を観測したほか、九州地方から近畿地方にかけて震度3~1を観測しました(図7)。長崎県では、松浦市、諫早市、雲仙市、島原市及び南島原市で震度1を観測しました。

今回の地震の震源付近(図9領域d)では、2014年3月14日にM6.2の地震(深さ78km、最大震度5強)が発生し、長崎県では、壱岐市、松浦市、諫早市、雲仙市、島原市及び南島原市で震度2を観測したほか、県内の広い範囲で震度1を観測しました(図8~図10)。



7月17日20時50分 M5.1
図7 震度分布図(左:地域別、右:観測点別 x:震央)

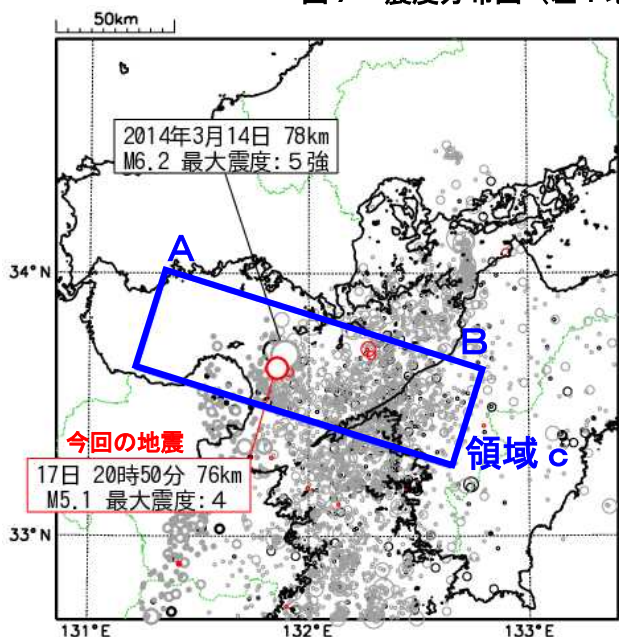


図8 震央分布図
(1997年10月1日~2021年7月31日 深さ30km~120km M≥2.0)
※2021年7月1日以降の地震を赤で表示

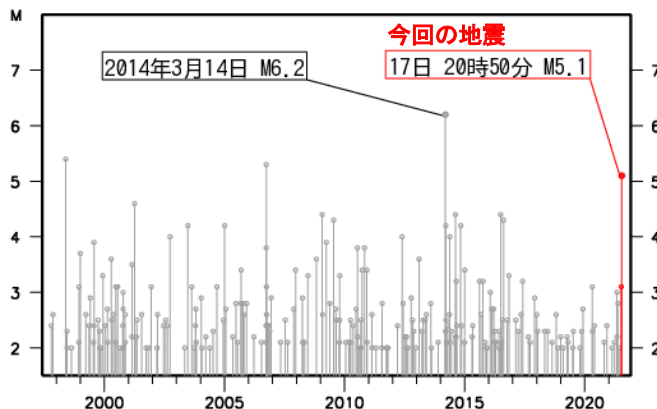


図10 図9領域d内の地震活動経過図
1997年10月1日~2021年7月31日、M≥2.0

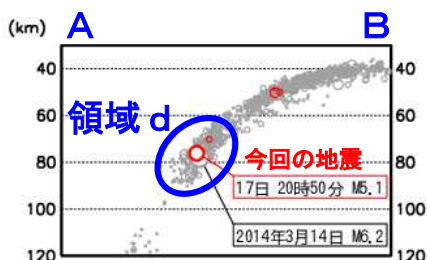


図9 図8領域c内の断面図(A-B投影)

長崎県内で震度1以上を観測した地震の表（7月1日～31日）

地震発生時刻 各地の震度	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
2021年07月04日00時47分 震度 2 : 長崎市神浦江川町*, 時津町浦* 震度 1 : 平戸市志々伎町*, 長崎市長浦町, 長崎市元町*, 長崎市伊王島町* 西海市大瀬戸町*	五島列島近海	32° 45.7' N	129° 44.2' E	13km	M3.2
2021年07月11日21時14分 震度 1 : 長崎市元町*	天草灘	32° 34.1' N	129° 54.8' E	10km	M2.9
2021年07月17日20時50分 震度 1 : 松浦市志佐町*, 諫早市森山町*, 島原市有明町*, 雲仙市国見町, 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市小浜町北本町*, 南島原市北有馬町*, 南島原市深江町* 南島原市加津佐町*	伊予灘	33° 38.3' N	131° 51.3' E	76km	M5.1

注) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
*を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

「防災の日」と「防災週間」

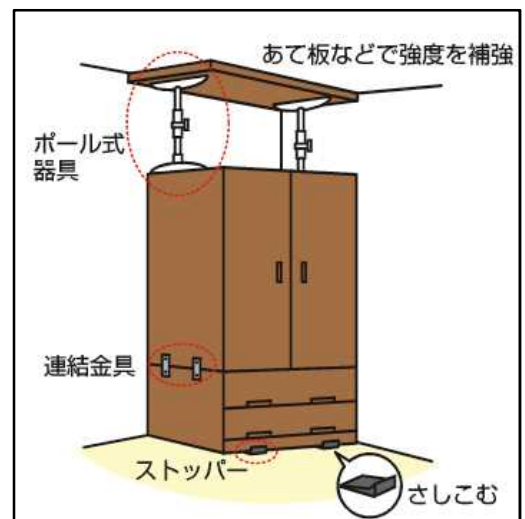
～いつかくる災害に備えて～

毎年、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ、広く住民の方が地震、津波等の災害への理解を深める目的で設けられています。この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、感染症対策も考慮しながら日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

○日頃からの備え

日頃からの地震への備えには、『家具の固定や配置の見直し』、『水や食料・生活用品の備蓄』、『建物の耐震診断や耐震化』などがあります。近年の大きな地震の際には、多くの人々が家具の転倒によりケガなどを行っています。右の図を参考に家具を固定しましょう。また、寝室に重い家具を置かないなど、配置にも気を配りましょう。大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の窓口へ相談しましょう。



みんなで減災（内閣府パンフレット）より

○とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

家庭では



- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

人が大勢いる施設では



- 施設の係員の指示に従い、落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない

屋外（街）では



- ブロック塀の倒壊等にご注意する
- 看板や割れたガラスの落下にご注意する

いざという時の行動例

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>